

平成27年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 城東中学校
作成日	平成28年2月29日

1 教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、

「自分を大切にし、人を大切にする人間」の育成

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	学校教育・家庭教育・社会教育の三つの力が合わさって教育が機能するものと思われる。そのためには、お互いが連絡を密することが重要であり、今後も開かれた学校づくりを推進し、信頼関係の構築に努めてほしい。	昨今の悲惨なニュースに触れるたび、心の教育の重要性を感じざるをえない。人権教育を柱とし、お互いを理解・尊重し、いたわり・いつくしみの心を育んでほしい。	学習意欲を向上させるためには、授業の質を改善し、よくわかる授業に取り組むことが重要である。ICTを有効に活用するとともに、協同学習が実りあるものとなるよう研鑽してほしい。
取組の状況に対する意見	学校便りを回覧板で地域に知らせるのは、いい取組だといえる。体育大会や文化発表会、授業参観等に保護者や地域の方々を招待してもいいのではないかと。	生徒の心に響く教材が用意できた時点で、その授業の価値がほぼ決まるといっても過言ではないと思う。ゲストティーチャーの活用を含め、教材の開発に取り組んでほしい。	ICTを活用した授業が多く見られるが、協同学習は今後の課題だと思える。生徒の授業態度はよく、そのことが全国学力診断テストの結果によくあらわれている。アンケート結果をみても、授業に取り組む姿勢がよく、基礎基本を身につけた生徒が多くみられるのは、学校の成果である。
検証結果に対する意見	特になし。	特になし。	特になし。
改善方法に向けての意見	校区内の小学校との連携、地域と連携した行事など、積極的に学校を開く取り組みをより一層推進してほしい。	いじめや不登校等を早期に発見し、その解消にむけた取り組みを進めてほしい。道徳の時間が教科となることを見据え、授業時間の確保・内容の充実を図ってほしい。	現在行っている数学の少人数指導が一年生から実施できるよう、人員の確保に努めてほしい。協同学習を推進し、お互いが切磋琢磨しながら伸びていくような学習形態を工夫してほしい。

3 その他のご意見

知・徳・体のバランスがとれた生徒の育成をお願いしたい。

高校に進学した先輩やその保護者から、進路選択や受験についての話を伺える機会を設けてもいいのではないかと。

生徒に心の教育を行うことは大事なことだが、保護者に対しての教育も必要となってきた。

学校が楽しいとアンケートで答えている生徒が多い。これからの学校教育に期待しているし、外部からも応援していきたい。